



東北大学における主な強み・特色

- 質の高い「学位プログラム」の伸長
- 材料科学、スピントロニクス等における顕著な研究実績
- 半導体分野における産学連携の成功モデル
- 広大なサイエンスパークと次世代放射光の誘致決定

東北大学における主な弱み・課題

- 縦割りの障壁
- 国際的プレゼンスの低下
- 世界的な社会課題への責任ある対応の必要性
- 財源多様化の必要性

「東北大学高等大学院」創設に代表される教育システム改革

学際・国際・産学共創を理念とする学位プログラム群の展開

- ・「東北大学高等大学院」を創設し、従来のディシプリンを超えた分野横断型の特長ある大学院教育プログラムとして「学位プログラム」を展開

大学院の訴求力の向上による国内外からの優秀な学生の獲得

- ・入試制度の国際標準化により博士留学生比率を向上
- ・博士後期課程学生に対する経済支援を全員に拡大

多様な学生の挑戦に応え未来社会に備える学士課程教育改革の推進

- ・現代的リベラルアーツとして、グローバルリーダー教育、AI・数理・データリテラシー教育等に焦点を当てた実践的な教育プログラムを展開

世界的に卓越した研究活動の戦略的推進

「高等研究機構」を頂点とした「研究イノベーションシステム」構築

- ・研究組織をミッション別に三層化することにより、部局の壁を越えた研究ユニットを機動的に編成可能とし、戦略的な研究拠点形成を加速
- 材料科学、スピントロニクス、未来型医療、災害科学の4領域における世界トップレベル研究拠点の形成**
- ・総長のリーダーシップによる重点投資により世界的研究拠点を形成
- 独創性豊かな若手研究者を世界各地から惹きつける場の創出**
- ・常時200名規模の優秀な若手研究者が集う研究セクション設置
- 社会課題解決を目的とした分野横断研究の展開（SDGs対応等）**
- ・本学独自の視点から「社会にインパクトある研究」を全学的に推進

【大学経営革新の主要施策】

ガバナンス改革：東北大学版プロボストの設置、総長・プロボスト室（50名規模：兼務含む）の新設

人事給与システム改革：本学独自のインセンティブ付与制度の拡充（RP、DP制度）、シニア教員の給与水準適正化等による若手教員採用推進制度の構築

財務基盤強化：産学連携関連収入・資産運用収入・寄附金収入等の拡大、多様な財源による総長裁量経費の拡大

本格的産学共創をはじめとする社会連携の抜本的強化

自立型産学連携オープンイノベーション拠点等による大型共同研究の拡大

- ・半導体工学、材料科学、ライフサイエンスなどの分野において、B-U-B連携による複数企業参加型のイノベーションエコシステムを形成

産学連携機能の抜本的強化による東北大学発イノベーションの加速

- ・産学トップマネジメントによる「ビジョン共創型パートナーシップ」に基づく大型の産学共創、東北大学発ベンチャー創出等を加速

青葉山新キャンパスにおけるサイエンスパークの整備

- ・青葉山新キャンパスに国立大学最大規模のアンダー・ワン・ルーフ型産学連携拠点を構築し、日本最大級のサイエンスパークとして整備



創造と変革を先導する大学 ~ 世界から尊敬される三十傑大学を目指して

材料科学、スピントロニクス、未来型医療、災害科学の4領域において世界トップレベル研究拠点を形成するとともに、産学連携機能を抜本的に強化することによって、**卓越した研究成果を基盤としたイノベーション・社会変革を先導**する。

この「創造と変革を先導する大学」としての一連の活動を通して、**世界最先端の研究力をエンジンとした社会との好循環サイクルを実現することにより、サステナブルな財源確保**を可能とする。

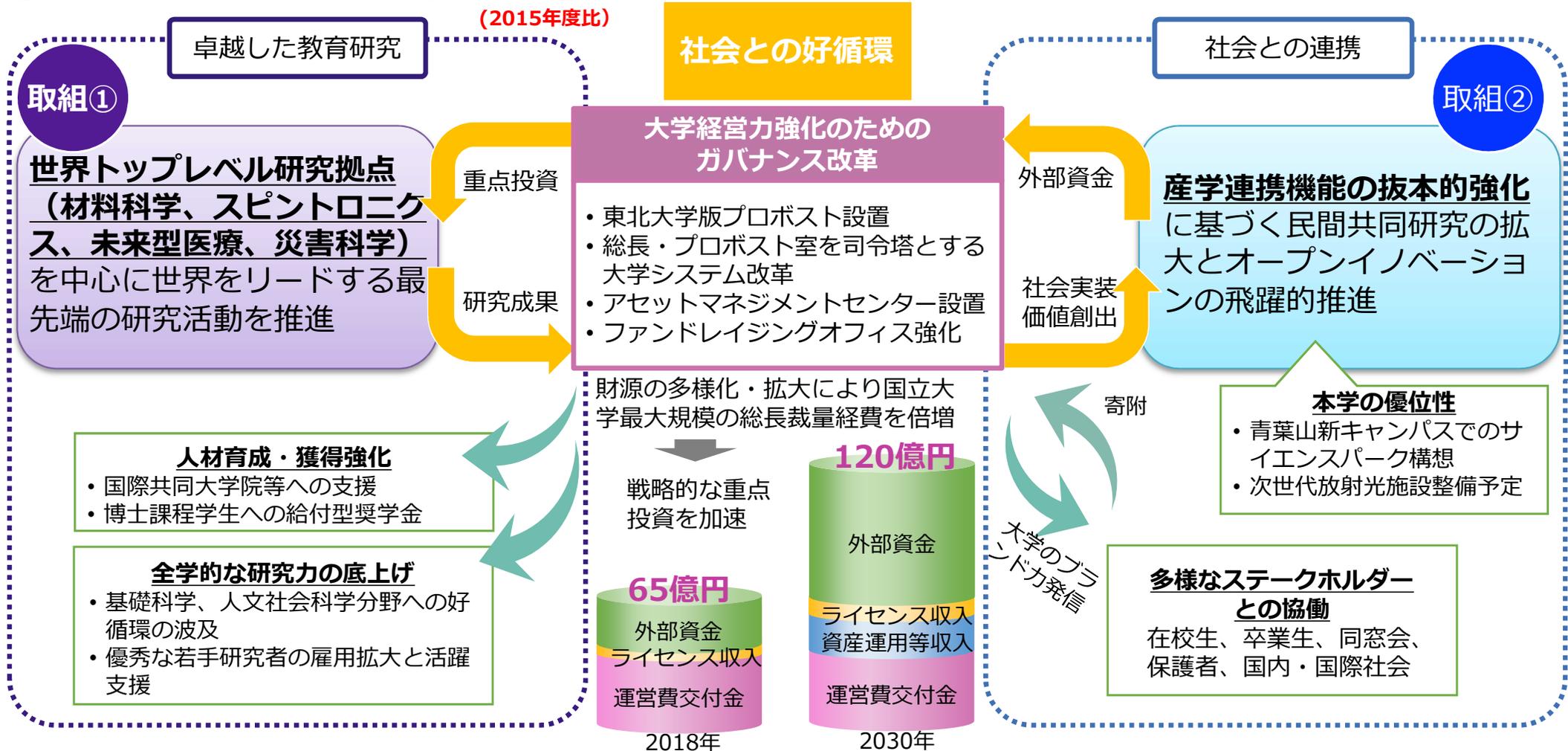
さらに、世界と伍する総合研究大学にふさわしい先進的アカデミックガバナンスを確立することにより、**自立的な知の経営体**として国際的プレゼンスを飛躍的に向上させ、世界から尊敬される世界三十傑大学を目指す。

国際的プレゼンスの抜本的向上

経営改革KPI：2021年度までに国際共著論文数20%以上増加
(2015年度比)

社会からの要請に応える大学機能強化

経営改革KPI：2030年度までに外部資金比率30%



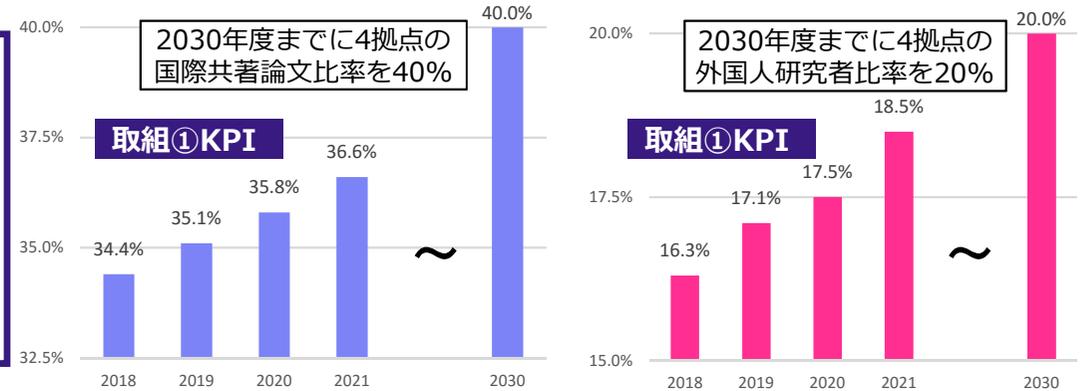


取組① 戦略的な研究拠点形成（世界トップレベル研究拠点の形成）

- 本学が既に世界最高レベルのポテンシャルを有する4つの研究拠点（材料科学、スピントロニクス、未来型医療、災害科学）において、総長のトップマネジメントによる人事戦略及び財務戦略を駆使して体制整備を行うとともに、本補助金等も活用し、世界をリードする最先端の研究活動を加速的に推進

H30年度の取組

- 世界最高水準の研究を展開するために具備すべき最先端研究機器等を整備する等研究環境インフラの更なる充実
- 顕著な業績を上げている海外有力大学とのジョイントラボを形成する等国際的頭脳循環を加速
- 優秀な外国人研究者および若手研究者を20名程度国際公募により採用し、次世代を担うエリートを育成



取組② 産学連携機能の抜本的強化に基づく民間共同研究の拡大とオープンイノベーションの飛躍的推進

- 現有する学内の多様な産学連携組織の役割分担の明確化、機能集約、再編成を行い、産学連携機構を中心に総長のトップマネジメントによる財務戦略を駆使して体制整備を行うとともに本補助金等も活用し、産学連携企画・マネジメント機能を抜本的に強化することにより、民間共同研究の拡大とオープンイノベーションを飛躍的に推進

H30年度の取組

- 主要研究拠点ごとに産学連携リエゾンを18名配置し、研究シーズと企業ニーズの効果的・効率的なマッチングを加速
- 全学的な産学連携に関する企画立案機能を担う特任教員を6名産学連携機構企画室に配置
- 「ビジョン共創型パートナーシップ」に基づく大型共同研究における大学側のマネジメント体制を強化・充実させるために特任教員6名を産学連携機構総合連携推進部に配置
- 知的財産創出から技術移転・事業化に至る一気通貫の知的財産マネジメントシステムを構築

